



➔ 10月8日（火）G10ボストン・ニューヨーク海外研修 成果報告会



10月8日（火）本校大会議室にて、G10ボストン・ニューヨーク海外研修第5期派遣生徒による成果報告会が行われました。今年度も事前・事後研修等でお世話になった来賓の方々、保護者の方々に多数御来校いただき盛大に開催されました。G10の活動に関心をもつ在校生も数多く参加し、会議室に収まりきれないほどでした。

校長先生の英語による御挨拶の後、グローバル事業部から東京グローバル10事業の概要説明、生徒による研修の概要説明、米国アスペン研究所で実施した「食料問題に関する提言のプレゼン」の順に会が進められました。米国アスペン研究所での「食料問題に関する提言（プレゼンテーション）」は本研修の中核です。今年度は次の2つのテーマでプレゼンテーションを行いました。

A 班 To increase the crop yield in Nuba ~improvement of farming method~

「How it is possible to increase crop yield in Sudan by making compost out of Striga, a parasitic plant currently damaging the local farming.」

B 班 A solution to child stunting in Bangladesh

「The goal is to reduce the amount of wasted milk in Bangladesh, by designing a simple cooling device that is feasible in rural areas.」

報告会では、米国アスペン研究所でエキスパートからいただいたアドバイスを踏まえたプレゼンが実施され、5期生の意識の高さと今後の活動に繋げようとする意欲を感じることができました。

米国アスペン研究所においてエキスパートを前に提言するという高いハードルを乗り越える過程で、チームワークの大切さ、広い視野をもつことの重要性、将来の自己の進路決定について、学ぶことの意味、目的意識をもつことの大切さ、グローバルリーダーとしての在り方など、生徒達は多くのことを学びました。困難な課題を仲間と共に乗り越え、提言という一つの形として表現できたことは生徒達の自信に繋がり、成果発表会の堂々とした姿に現れていました。

発表後は、来賓の方々を代表して経済産業省、教育庁指導部、日本アスペン研究所の来賓の方々から、それぞれ貴重なお言葉をいただきました。いずれも高い評価をいただき、今後の生徒達の活躍に期待を寄せられるものでした。

令和元年度研修の一連の流れ

【事前研修】

- Lecture ①「アフリカの最新状況」講義
- Lecture ②「世界の農業の課題」講義
- Lecture ③第1回プレゼン検討会 本校教員&JET
- Lecture ④“Basic Presentation Skills”本校英語科
- Lecture ⑤朝日新聞本社訪問
- Lecture ⑥第2回プレゼン検討会 G10のOBOG
- Lecture ⑦農林水産省訪問
- Lecture ⑧経済産業省訪問
- Lecture ⑨「FRBと世界金融」
- Lecture ⑩第3回プレゼン検討会 慶應大学留学生
- Lecture ⑪株式会社ニチレイ訪問
- Lecture ⑫日本経済団体連合会（経団連）訪問

【海外派遣研修実施 8月16日～8月23日】

【事後研修】

- ・三井住友銀行訪問
- ・中学生に向けて研修報告(学校説明会)
- ・連携機関に向けて研修報告会
- ・上智大学訪問
- ・海外派遣 OBOG とのワークショップ
- ・野村総研講演会
- ・G10カンファレンスにて相互研修成果報告
- ・文科省主催 2019年度全国高校生フォーラムにて成果報告



<報告会に参加した生徒の感想>

- ・Group Aからは『ヌバ地域の作物収量を増やす方法』について、Group Bからは『バングラデシュにおける子どもの発育阻害の課題のソリューション』についてのプレゼンだった。どちらのプレゼンもグローバルな解決の難しい問題についてだったが、年々問題は改善されているものの完全な解決には

至っていないこと、世界の問題は密接に関係していること、そしてそこには創造的なアイデアが新たに必要なことを深く学べた。また、先輩方が海外研修を通して様々な人に出会い、いい影響を受けて新しい学びや考え方を得たということがとても感じられた。また、そんな先輩方を見て私も海外研修にぜひとも参加したいと強く思った。

- ・食料問題についてのプレゼンテーションがとても印象に残りました。問題の発見、それに対してどのような解決策が取れるのか、とよく考えられていると感じました。日本では学ぶことができない文化、習慣の違いがありながらもたくさんのことを学べたと言っていたのをよく覚えています。高校生でこの経験ができるのは貴重だと思いました。

◆ 姉妹校韓国ミチュホル外国語高等学校生徒との交流

皆さんご存知の通り、大変残念なことです。台風 19 号の影響により韓国ミチュホル外国語高等学校の来校が中止となりました。韓国ミチュホル外国語高等学校と連絡を取り合いながら直前まで実施の手立てを模索しましたが、自然の猛威の前にはどうしようもありませんでした。ホストファミリーをお申し出いただいた御家族の皆さま、準備にあたってくれた生徒の皆さん、先生方、台風接近に伴い状況判断が難しい中様々対応していただきましたことに大変感謝申し上げます。

中止に際し、校長先生よりお見舞いのお手紙をいただいておりますので御紹介いたします。

東京都立日比谷高等学校 校長先生、先生方、生徒の皆様

この度の台風 19 号による東京都内をはじめとする日本各地の被害の報道を知り、貴校の先生方や生徒の皆さんとご家族および関係者の皆さまの安否を心配しております。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、完全復旧まで何かとご不便を伴われますことお察し申し上げます。これまでも日本は多くの自然災害に見舞われながらも国民の秩序ある行動で目覚ましく復興していく姿を見るにつれ、多くのことを学ばせていただいております。

折しも貴校への訪問交流の時期にあたり、各方面にわたり事前準備にご尽力いただき最後までご心配いただき、本校といたしましても航空便を変更しお伺いできるよう最後まで努力してまいりましたが、渡航便の欠航によりやむを得ず訪問を中止させていただくこととなりました。この度の訪問交流の実現のためにご尽力いただきました貴校の先生方および生徒さん方、そして本校生徒を受け入れようご準備いただいておりますホストファミリーの皆様方には、大変残念な結果となり申し訳ございません。

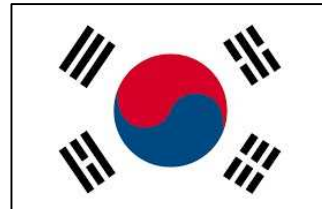
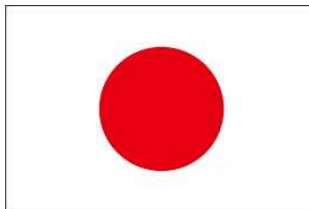
しかしながら、貴校と本校との絆は固く結ばれていると信じます。今後も折に触れて様々なかたちでの相互交流が実現し、両校ひいては両国の友好とグローバルリーダー育成に成果を上げていくことを願ってやみません。

両校ともこれから受験シーズンにさしかかります。貴校でリーダーの資質を磨かれた生徒さん方が、それぞれ希望する路に進まれますよう、学業日程と学校運営が円滑に行われますことをお祈りいたします。

取り急ぎ、お見舞いのご挨拶まで。

2019 年 10 月 15 日 ミチュホル外国語高等学校 校長

今回来日予定だったミチュホルの生徒の皆さんや日本語学科の皆さんからお見舞いのお手紙をいただいております。大会議室前に掲示いたしますのでご覧ください。



韓国ミチュホル外国語高等学校との姉妹校交流は今年度で 3 年目を迎えますが、着実に交流の根の深まりを感じます。今後も両国の平和、発展のためにも交流の輪を広げていきましょう！